



# 放射能対策推進町民会議だより

第 33 号 平成 28 年 7 月 20 日発行

会長：高橋 宣博

事務局：桑折町環境対策課 ☎024-582-2123

## 第 6 回町民会議を開催しました

6 月 7 日、桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」において、第 6 回桑折町放射能対策推進町民会議を開催しました。

初めに平成 27 年度事業報告、平成 28 年度活動報告等を行い、その後、河北新報社編集局編集委員 寺島英弥氏より、「東日本大震災から 5 年 復興を阻む壁、どう破る」と題し、ご講演いただきました。



### 会長あいさつ

東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原発事故から、5 年が経過いたしました。本会は、平成 24 年 4 月に「全町民が一致団結して放射能に対する町民の不安を克服し、安心して住み続けられる平穏な日常生活を取り戻し、豊かな恵みの大地を再生させる」ことを目的に発足し、これまでの間、講演会や勉強会の開催、各種要望活動などを実施してまいりました。これまでの皆様のご理解、ご協力に対し、改めて厚くお礼申し上げます。

ここで、本町の原発事故対策の現状につきまして、ご報告いたします。

始めに、除染事業でございます。町内における生活圏内の住宅除染作業は、皆様のご理解とご協力により他の自治体に先駆け、平成 27 年 3 月に完了いたしました。また、去る 6 月 5 日、半田山山開き、その会場となりました半田山自然公園と公園へのアクセス路である林道の除染も昨年度に完了し現在は、工業団地の除染、幹線道路の除染を実施しております。今後は、高速道路法面の除染や学校の校庭等にやむなく埋設した土壌を仮置場に搬出する事業を実施してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

次に、食品放射能濃度測定事業でございます。現在、非破壊式放射能測定装置 2 台で測定を実施しており、測定に要する時間は 1 回あたり 5 分程度で、お待ちいただく時間もとても短くなりました。気になる食品などございましたら、ぜひご利用いただければと思います。

次に損害賠償について、でございます。平成 26 年度水道事業に係る逸失利益につきましては、約 2, 267 万円を本年 2 月に東京電力に対して直接請求いたしております。

また、一般会計に係る損害賠償請求につきましては、平成 26 年度分、約 1 億 2, 100 万円を本年 3 月に請求し、これまでの請求分と合わせますと約 4 億 2, 000 万円となりました。しかし、現時点では、入湯税、個人町民税など一部の賠償にとどまっておりますので、今後、東京電力に対して早期に賠償に応じるよう強く求めてまいります。

## 講演「東日本大震災から 5 年、復興を阻む壁、どう破る」

河北新報社編集局編集委員の寺島英弥氏を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

寺島氏は、発災当初より、宮城県、岩手県、福島県等の被災地取材してこられました。その中から、いくつかの地域について、この 5 年間の動きを、被災間もない時期と最近の写真を比較しながらご紹介いただくとともに、真の復興を遂げるための手がかりについて具体的事例を交え、ご講演いただきました。

津波により被災した宮城県気仙沼、岩手県陸前高田市では、被災者は都市部へと移住し、帰還を希望する方々が 2 割を切っており、時間の経過とともに更に帰還希望者が減少していること、また、原発事故により全村避難となった福島県飯舘村では、除染は実施されているものの、住宅近くに一部空間放射線量の高い場所があり、安心して帰還できない状況にあることなど、いずれの被災地も復興への道のりは、遠いままになっていると話されました。

また、東日本大震災関連情報の全国への発信は時間の経過とともに減少し、ニュースなどでもあまり取り上げられなくなり、被災地への意識や関心の風化が進んでいること、福島県では、放射能検査を実施し食品の安全性を確保しているにも関わらず、そうした情報発信の機会が少なくなり、その結果、風評被害の払しょくが十分にできない状況にあることなどを話されました。

そのような中、福島県南相馬市の菜種油と宮城県石巻市のホヤの販売に取り組む住民の活動事例を通して、継続して情報を発信し続けていくことが重要であるなど、復興を阻む風評の壁を破るヒントについてわかりやすくお話いただきました。



裏面へ続く

## ■平成27年度 桑折町放射能対策推進町民会議 事業報告

月 日	内 容	場 所	参加者
平成 27 年 5月12日	<b>第 10 回幹事会</b>	役場第 1 会議室	幹事 11 名
5月20日	<b>放射能対策推進町民会議だより第 28 号発行</b> ・第 5 回桑折町放射能対策推進町民会議を開催します		
6月3日	<b>第 5 回桑折町放射能対策推進町民会議</b> ・平成 26 年度活動経過、平成 27 年度活動計画 ・福島県危機管理部原子力安全対策課 主幹 酒井広行氏講演 「福島第一原発の廃炉に向けた県の取り組みについて」	イコーゼ!	町民約 120 名
6月17日	<b>放射能対策推進町民会議だより第 29 号発行</b> ・第 5 回町民会議を開催しました ・平成 26 年度 桑折町放射能対策推進町民会議 事業報告		
7月1日	<b>福島第二原子力発電所視察</b>	楢葉町	幹事 7 名
7月12日	<b>原子力損害賠償に係る司法書士による個別相談会</b> (町及び町民会議共催)	桑折公民館 小日本間ほか	町民 7 名
10月29日	<b>第 11 回幹事会</b>	役場第 1 会議室	幹事 12 名
11月10日	<b>環境省、復興庁、東京電力に対し要望活動</b> ・中間貯蔵施設の早期整備 など	福島市	幹事 7 名
11月18日	<b>放射能対策推進町民会議だより第 30 号発行</b> ・玄侑宗久氏による講演会を開催します。 ・国および東京電力へ要望活動を行いました。		
12月3日	<b>町民会議主催講演会</b> ・「放射能を巡るアレコレ」講 師：玄侑宗久氏	イコーゼ!	町民約 150 名
12月16日	<b>放射能対策推進町民会議だより第 31 号発行</b> ・講演会を開催しました。 ・東京電力から回答がありました		
平成 28 年 2月28日	<b>原子力損害賠償に係る司法書士による個別相談会</b> (町及び町民会議共催)	桑折公民館 小日本間ほか	町民 2 名